



第205号
 発行所 支部 支 部
 千教組 長行 和 嗣
 中 村 編 集 部
 情 宣 宣 所
 小 路 印 刷 所

東京2020オリンピックで思うこと

副支部長 椎原政文



現在、東京2020オリンピックが開催されています。また、一宮町の釣ヶ崎海岸ではサーフィンが行われ地元出身の選手が活躍しています。私にもわかファンとして、テレビの前で釘付けになり日本選手を応援したり、世界の技に魅了されたりしています。その中で、私が注目しているアスリートがいます。それは、体操の内村航平選手です。もちろんここで内村選手を説明する必要はありません。世界選手権の個人総合では、六連覇。オリンピックの個人総合二連覇を含む七つのメダルを獲得。その中で五年前のリオデジャネイロ五輪での団体では金メダルを取ったのは記憶に新しいところだと

思います。その後は、年齢を重ねるにつれて、けがに悩まされ、両肩の痛みで個人総合に必要な六種目全てをこなせなくなったそうです。そこで鉄棒一本に絞って東京五輪をめざしてきました。昨年十一月の日本の国際大会で以下のように訴えました。「コロナの感染が拡大して、『五輪ができない』ではなく、『どこまでできるか』という方向に考えを変えてほしい」このコメントは私の心に刺さりました。このコメントはオリンピックだけでなく様々な場面でもあてはまるのではないのでしょうか？この教研集会もいつも通りに開催できない状況下で皆さんの力を借りて準備を進めているところです。第七一次長生教育研究会（分科会）の開催にあたり、長生村立長生中学校の皆様には会場校として多大なるご協力をいただいています。ぜひご協力をお願いいたします。八月二十三日に行われる分科会では、新しい時代

の教育を追求した実践が提案され、充実した討議がなされたら幸いです。その内村選手が、鉄棒の演技で開始から三十秒ほど経過し、片手が外れマットへ転げ落ちてしまいました。一年延期となり、その中でつかんだ夢舞台である日本で開催される五輪。その中で三十秒で落下。内村選手の気持ちを推し量ることはできません。しかし、その後のコメントでは、「このように言っています。『失敗したことがない技で失敗する。これだけやってきても、まだ分からないことがある。おもしろさしかないです。よね』分からないことが分かり、できないことができるようになる。このコメントも私たち教職員へのメッセージとしても受け止めたいと思います。まだまだ内村選手から目が離せません。



研究主題・発表者紹介

国語教育

自分の考えをもち、書く力を高める国語科学習
 ー思考に関する語彙の習得・活用を通してー
 東郷小 太田和祐子

理科教育

『理科の見方・考え方』を養う指導法の工夫
 ー六年「土地のつくりと変化」の防災教育を通してー
 本納小 中村陽介

外国語教育

主体的に外国語活動に取り組む児童の育成
 ー東京オリンピックのホストタウンとしてできることー
 一宮小 樋口陽樹

道徳教育

「考え、議論する道徳」の実現をめざした授業づくり
 ー話し合いを充実させ、多面的・多角的に考える授業実践を通してー
 睦沢中 松井綾子

算数・数学教育

思考力を育てる指導のあり方
 「問いと教材の工夫」によって、生徒の見方・考え方を働かせ、社会的現象を考察することができる生徒の育成をめざした授業の実践報告。
 茂原中 鴨賢司

音楽教育

思いをもち、表現できる児童の育成をめざして
 ー「いろいろなおとをたのしもう」の活動を通してー
 東郷小 小林あずさ

造形教育

表現する喜びを実感する造形活動
 ー身近な材料を生かしてー
 一宮小 村田幸音

体育教育

主体的・対話的な学びにつながる体育学習の在り方
 ーハードル走における、インターバルのリズムに着目してー
 長南小 渡邊純一

保健教育

教職員の基本的な生活習慣と健康意識の向上をめざして
 ー養護教諭から教職員に発信する保健だよりを通してー
 西小 森川ともみ

技術・家庭科教育

製図の学習における3次元CADを活用した学習指導の工夫
 製図の学習において、3次元CADを活用することで、構想したものの形を表現しやすくすることをめざして
 茂原中 阿部豊

社会科教育

一人一人の防災意識を高める学習
 ー公助・共助から自助への学習を通してー
 東郷小 戸枝克人

理科教育

『理科の見方・考え方』を養う指導法の工夫
 ー六年「土地のつくりと変化」の防災教育を通してー
 本納小 中村陽介

外国語教育

主体的に外国語活動に取り組む児童の育成
 ー東京オリンピックのホストタウンとしてできることー
 一宮小 樋口陽樹

道徳教育

「考え、議論する道徳」の実現をめざした授業づくり
 ー話し合いを充実させ、多面的・多角的に考える授業実践を通してー
 睦沢中 松井綾子

特別支援教育

特別支援教育体制の整備と生徒のニーズにあった関係諸機関との連携の取り組み

長南中 川名 明子

支援の必要な生徒の関係諸機関との連携、学びの場の整備。

特別活動・学級経営

信頼関係を構築し、主体的にとりくむ生徒の育成

南 中 大森 知里

生徒との信頼関係構築のためのとりくみや行事へ向けた活動を通して、学校生活に主体的にとりくむ生徒の育成をめざした実践報告

生徒指導

自ら考え、行動できる児童の育成

鶴枝小 中山 大輔

生活様式サミットを経て、児童が考えた学校での過ごし方の実践報告

キャリア教育

タブレット端末を活用した「人間関係形成・社会形成能力」の育成について

白子中 浜野 大

タブレット端末を「職業調べ」や「進路調べ」に活用

「人間関係形成・社会形成能力」の向上をめざした実践報告

情報・視聴覚教育

アンプラグドプログラムを取り入れた指導法

東部小 町野 光彦

アンプラグドプログラムを活用し、身近な課題を解決することから論理的思考を身に付け、PCでのプログラミングへ円滑に移行するための指導の在り方を考える。

学校図書館教育

主体的な学びを支える図書館の在り方

学校図書と連携した環境整備及び読書推進活動を通して

睦沢中 西谷 真澄

生徒が主体的に読書に親しむために、学校図書と連携して行う授業や委員会活動の実践報告

学校事務

チーム学校の一員として、時代の変革に柔軟に対応しながら創造する、これからの学校事務

南白亀小 高仲 啓予

研修体系化をめざした実践

東 中 野口 博充

教育予算改善プロジェクトを通じた教育環境整備の実践

食教育

生涯を通して健康に過ごすための食教育の充実

学校給食を活用した指導を通して

東部小 古市 千晶

チェックガムを活用し、

正しい噛み方の八つの効果を意欲的に学ぶ検証及び実践報告

環境教育

環境問題に関心をもち、環境保全に進んでとりくむ児童の育成

地域に流れる川の水質調査を通して

新治小 五町 大輝

総合的な学習の時間で調査した内容から自分たちができることを考えた実践報告

安全教育

危険を予測し、回避できる児童の育成

地域の関わりを通して

東部小 青木 昂平

地域の素材や人材を活用した授業、活動を行うことで、自ら危険を予測し、回避することのできる児童の育成をめざした実践報告

情報処理(統計)教育

統計的な見方・考え方を身に付け、主体的に生きる児童の育成

第三学年総合的な学習の時間「昔発見」を通して

中の島小 木村 勇介

統計的手法を用いた学習を通して、今と昔の暮らしを比較し、今の暮らしのよさの再発見をめざした実践報告

生活科・総合的な学習

未来に夢を描き、主体的・協働的に学ぶ生徒の育成

オリ・パラ教育の理念とのつながりを通して

一宮中 小関かずさ

一宮中 浅利 俊哉

オリ・パラ教育を通して、

生徒が自ら課題を設定し解決する力を身につけた実践

民主的學校づくり

青年部から始めよう！働き方改革

支部における業務の実態調査を通して

本納中 足立 嵩典

教職員の業務の実態調査を基にした分会交流を通して、働き方改革をめざした実践報告

両性の自立と平等をめざす教育

一人ひとりが自分らしさを大切にできる児童の育成

教職員と児童の「多様な性」の理解を通して

日吉小 川村 純子

日吉小 野村 隆之

「性の多様性」に関する授業と研修の実践報告

幼年期の教育

進んで人と関わる児童の育成

交流学習を通して

本納小 佐々木有紀子

新治小 米倉 幸子

二校の小学校間連携による交流学習を通して、進んで人と関わり、よりよい人間関係づくりをめざした実践報告

新たな時代の保育実践

すべての子どもに向けて

睦沢こども園 宮崎 裕子

子どもを中心とした保育の実現に向けての実践報告



初のオンライン開催!!

四月二十八日(水)に「令和三年度長生教育研究会全体研修会及び第七十一次長生教育研究会全体会」が開催されました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大によって残念ながら中止となつてしまいましたが、本年度は感染拡大防止に配慮しつつ、オンライン会議システムを利用しての初の全体会の開催となりました。

当日は、御来賓の皆様には長生教育会館にて御臨席を賜りました。当日、公務のため御臨席を賜ることのできない御来賓からもVTRで御挨拶をいただくことができました。

ができました。画面越しで全体会の様子を御覧いただきましたが、皆様は、どのような感想をもたれたでしょうか。是非とも忌憚らない御意見を寄せたいだければ幸いです。これまでにならぬ形態での全体会運営となりましたが、皆様の御協力により、全体会を開催することができました。御協力ありがとうございました。

教育研究レポート実践講座

今年も開催!!

二〇一九年度にスタートした「自主研修会 教育研究レポート実践講座」を、本年度も開催する予定です。この研修会は、「研究ってどうすすめるの?」「テーマや仮説の書き方がわからない!」「成果を検証するには?」など、教育研究における日頃の悩みの解決のため、教育研究の専門家や経験豊富な先輩方からそのノウ・ハウを学ぶ機会です。

第一回は、講義形式で、教育研究の基本的な進め方

について学び、第二回は、講師と受講者とのマンツーマンを基本とした相談会を予定しています。

来年度長生教育研究会分科会で提案を予定している方、数年前に提案する予定の方、長期研修を希望する方、日々の教育研究で悩んでいる方、研究主任・研究推進委員の方など、この研修会に是非とも、御参加ください。

オンライン会議システム等の新たな技術を活用することで、研究活動を進める可能性が広がります。未来のあたりまえをとにもつくりていきましょう。

